



環境問題

「環境問題は専門家にまかせておくしかない地球レベルの問題だ」という“常識”が生んだ原発事故。身の回りの物事を根本から問い直し、身近な環境問題を足元から解決するための知恵と経験に学びます。”身の回りで何か問題が起こったら・・・と、想像できる感性を育て、自らの暮らしを守るために行動に移す勇気を培いましょう。本授業では、「住生活と環境」をひとつの柱に、現場の声に耳を傾けていきます。

マスコミには載らない情報に触れることで、さまざまなマインドコントロールを越えて、自分の生活そのものを再点検しながら深く考え、足下から暮らしと環境を変えていくきっかけをつかみましょう。

【講師】国際文化学部 教授 安溪遊地

開講期間	2011年4月15日～7月29日 毎週金曜 [全15回] ※4月29日は昭和の日のため、開講せず。
時間	各回 10時20分～11時50分
会場	山口県立大学 6号館 F204
受講料	各回 500円(10回以上 5,000円)
応募期限	2011年4月11日(月)必着
申込方法	はがき・電話・FAX で、 <u>氏名・住所・電話番号</u> を下記の申し込み先までお知らせください。 山口県立大学附属地域共生センター 〒753-8502 山口市桜島 3-2-1 電話・FAX : 083-928-3495
受講通知	授業開始までに、詳細なご案内を送付します。

- 第1回
4月
15日
- 第2回
4月
22日
- 第3回
5月
6日
- 第4回
5月
13日
- 第5回
5月
20日
- 第6回
5月
27日
- 第7回
6月
3日

出過ぎる杭は打たれない
-この講義の進め方

まゆつぼの技術
-マスメディアのマインドコントロールに負けないために
(県立大教授・新谷明雲さんを迎えて)

岩国からのメッセージ 基地被害から生活を守る
(元岩国市長・井原勝介さんを迎えて)

想定されていた地震・津波・原発災害 天災から人災へ

グローバルからローカルへ 「半農半X」の楽しみを生きる
(田布施町・大下充徳さんを迎えて)

あったか村においてよ-人の健康・地域の健康・地球の健康を守る
(阿武町の農家民宿・白松博之さんを迎えて)

幸せのトイレづくり タイで見つけた未来型社会(村のトイレ屋さん・安藤公門さんを迎えて)

- 第8回
6月
10日
- 第9回
6月
17日
- 第10回
6月
24日
- 第11回
7月
1日
- 第12回
7月
8日
- 第13回
7月
15日
- 第14回
7月
22日
- 第15回
7月
29日

スペイン・ナバラの農家民宿と自然エネルギー 20年で70%自給をなしとげた事例

知る・愛する・守る アフリカの森と屋久島の森を守る人々との交流
(山口市・安溪貴子さんを迎えて)

瀬戸内海がよみがえる日 上関の奇跡の海を守る
(上関町・高島美登里さんを迎えて)

大規模開発につける薬はあるか
-御用学者・市民科学者・生活者の役割

安心安全の暮らしのために(1) 本当にこれを食べてもいいのですか?

安心安全の暮らしのために(2) いま何が一番の危機なのか

いま足下からできること
-小さな森に県産材で建てた価格破壊住宅で

だまされないために
-知るは難く行方は易し(孫文)